

(1) 平成29年度 事業報告書

1 総括

平成29年度は社会福祉法人制度改革の元年であり、法人の組織基盤の強化、経営の原則の徹底、地域への積極的な貢献を重点方針として、法人運営を行ったところである。

法人組織については、新たな評議員会（8名）のもと、経営の重要事項について、理事会（理事7名及び監事2名）での議決、報告を行うとともに、人材育成及び地域貢献担当の2名の業務執行理事を選任し、法人の意思決定の透明性を確保しながら、積極的に課題に取り組み、適切な運営を行った。

毎月の経営状況については、理事長の主宰により業務執行理事、施設長、管理職からなる「経営会議」を定期に開催し、事業計画の策定、利用者の動向、収支の状況など情報の共有を図り、多くの課題に的確に対応するため、経営会議メンバーで協議を行った。

中でも、経営の中核を担う、障害者支援施設「希望の郷」及び障害児入所施設「未来」について、今後の障がい福祉施策と利用者ニーズを踏まえ、新たな施設整備と利用者サービスの向上を視野に入れ、将来の構想をどのようにするのか、「経営会議」の中に「企画委員会」を設置し、具体的な検討を行った。

その他、平成29年度に重点をおいて取り組んだ主な事業は次のとおり。

- (1) 希望の郷と未来の利用者サービス向上と利用者増
- (2) 利用者サービス向上と高齢化対応を図るための「希望の郷 大規模改修計画」の取りまとめと着手
- (3) 地域における多様な住まいの場を増やしていくための「希望ホームサテライト型住居」の新設
- (4) 相談支援事業所「きぼう」での地域福祉相談に応えるための「困りごと相談窓口」の設置及び徳島市相談障害者相談支援事業の受託と相談支援事業の充実・強化
- (5) 設立1周年を迎えた徳島県障がい者スポーツ協会のスポーツの普及及び振興
- (6) 徳島県地域生活定着支援センターの福祉的支援者を対象とした事業の普及・啓発
- (7) 次期指定管理事業の受託に向けた県立施設の管理計画の策定と次期協定の締結
- (8) 障がい者交流プラザでの地域の方々の参加による避難所開設・運営訓練の実施
- (9) 視聴覚障がい者支援センターのICTの活用及び社会的リハビリテーションの充実
- (10) 平成30年度の介護報酬改定を踏まえた経営収支の見通しと中期計画の策定

経営課題のひとつである人材育成については、若い職員を対象とする課題解決プロジェクトチームを設け、法人運営、人材育成などについて、職員が主体的にテーマを選定し、県内外の施設調査・見学、先駆的な取り組みの研究を進め、将来を担う職員が高い意欲と企画力を発揮できるよう努めた。

2 決算状況（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

（単位：円）

区 分	決 算 額	前年度決算額	増 減
事業活動による収入	1,031,197,113	985,452,413	45,744,700
施設整備等による収入	2,348,000	1,882,000	466,000
その他の活動による収入	85,105,825	84,911,013	194,812
収入合計	1,118,650,938	1,072,245,426	46,405,512
事業活動による支出	904,759,299	910,995,691	△6,236,392
施設整備等による支出	6,811,648	4,805,944	2,005,704
その他の活動による支出	86,254,701	106,463,236	△20,208,535
支出合計	997,825,648	1,022,264,871	△24,439,223
当期資金収支差額	120,825,290	49,980,555	70,844,735
前期末支払資金残高	323,529,459	273,548,904	49,980,555
当期末支払資金残高	444,354,749	323,529,459	120,825,290

収入面では、事業活動収入1,031,198千円が、前年度決算に対して104.6%であり、基本となる事業活動は、確実に収入を確保している。

これは、希望の郷における、堅実な利用者数の状況、利用者の障害支援区分の重度化や生活介護支援事業における加算制度の活用などにより介護給付費が増加していること、加えて未来における障害児入所施設、放課後等デイサービス事業の利用者の増、相談支援事業所きぼうの事業の受託などが主な要因となっている。

一方、支出面では、基本となる事業活動による支出904,759千円となり、前年度決算に対して99.3%となっている。コスト意識の醸成の結果、経費を抑制した支出状況となっている。

収入合計と支出合計の当期差額については、120,826千円、当期末支払資金残高は、444,355千円となり、今後の利用者サービスの基盤となる施設面の充実に向け、財務体質が強化された。

3 設置経営及び管理運営施設等一覧

（平成30年3月31日現在）

区 分	施設種別	施設名等	定 員 (名)			現員
			入所	通所	利用	
設置経営	障害者支援施設	希望の郷	115	—	—	113
		希望の郷（短期入所）	5	—	—	—
		希望の郷（通所）	—	177	—	145
	共同生活援助事業	希望ホーム	13	—	—	13
	相談支援事業所	きぼう	—	—	—	—

設置経営	障害児入所施設	未来	60	—	—	51
		未来（短期入所）	4	—	—	—
	放課後等デイサービス事業所	未来	—	10	—	—
管理運営	—	徳島県立総合福祉センター	—	—	872	—
	—	徳島県立障がい者交流プラザ （障がい者交流センター）	—	—	227	—
	視聴覚障害者情報提供施設	徳島県立障がい者交流プラザ （視聴覚障がい者支援センター）	—	—	—	—
その他	—	徳島県地域生活定着支援センター	—	—	—	—
	—	ノーマライゼーション促進センター	—	—	—	—
	—	公益財団法人徳島県福祉基金事務局	—	—	—	—
	—	徳島県障がい者スポーツ協会事務局	—	—	—	—
—	合計	—	197	187	1,099	322

(注) 障害者支援施設「希望の郷」の通所定員は、生活介護事業等、日中活動4事業の合計利用者数を記載していること。

4 理事会等の開催状況

項目	開催日	備考
① 第123回理事会	平成29年 5月29日	6議案1報告
② 第51回評議員会	平成29年 6月23日	4議案
③ 第124回理事会	平成29年 6月23日	4議案
④ 第125回理事会	平成29年10月 2日	6議案3報告
⑤ 第126回理事会	平成29年12月 6日	4議案2報告
⑥ 第2回評議員選任・解任委員会	平成29年10月16日	1議案（評議員の選任）
⑦ 第52回評議員会	平成29年10月16日	1議案（理事の選任・みなし決議）
⑧ 第127回理事会	平成30年 2月22日	2議案4報告
⑨ 第128回理事会	平成30年 3月26日	6議案2報告
⑩ 第53回評議員会	平成30年 3月28日	2報告

5 監査の実施状況

(1) 公認会計士による外部監査

監査対象 平成29年度
 監査内容 長地孝夫公認会計士による監査を実施

6 職員の状況（平成30年3月31日現在）

(1) 職員総数 158名（内訳：職員63名、臨時職員52名、非常勤職員等43名）
 (2) 平均年齢 43.8才（職員のみ）
 (3) 男女内訳 男子25名、女子38名（職員のみ）

希望の郷

希望の郷は、笑顔あふれる施設づくりの理念実現に向かって平成19年12月に事業を開始し10年が経過したが、利用者の高齢化と障がいの重度化への対応や慢性的な人材不足、障がい者の地域移行や地域共生社会の実現という制度の要請など喫緊の課題を抱えており、これらの課題解決のため「利用者本位のサービスの向上」「施設基盤の強化」「人材の確保・育成の強化」「運営体制の強化」「地域との連携強化」を年間目標として取り組んだ。

1 事業の進捗状況について

(1) 入退所の状況

(単位:名)

平成29年4月1日現在 前年度継続利用者数	入所者数	退所者数	平成30年3月31日現在 利用者数
147	5	7	145

(2) 事業別の利用状況

(単位:名)

	定員	現員	平均利用者数	前年度平均利用者数
生活介護	145	125	122.3	122.0
就労継続B型	20	20	17.3	17.1
施設入所支援	115	113	110.7	107.6
	定員	現員	延利用者数	前年度延利用者数
短期入所	5	—	189	212

2 決算状況(平成29年4月1日～平成30年3月31日) 希望の郷拠点区分

(単位:円)

区 分	決 算 額	前年度決算額	増 減
事業活動による収入	564,176,267	533,730,466	30,445,801
施設整備等による収入	80,000	1,506,000	△1,426,000
その他の活動による収入	83,176,532	29,462,646	53,713,886
収入合計	647,432,799	564,699,112	82,733,687
事業活動による支出	457,418,469	475,810,202	△18,391,733
施設整備等による支出	4,110,784	3,219,480	891,304
その他の活動による支出	100,260,713	65,216,168	35,044,545
支出合計	561,789,966	544,245,850	17,544,116
当期資金収支差額	85,642,833	20,453,262	65,189,571
前期末支払資金残高	213,110,982	192,657,720	20,453,262
当期末支払資金残高	298,753,815	213,110,982	85,642,833

3 事業活動の概況

(1) 進捗状況

利用者は、3月末で145名となり、高齢者施設への移行や死亡により年度当初に比べて2名減少。加えて、長期入院者(年間に1ヶ月以上)が9名あったが、年間営業日数が昨年度に比べて2日多いことから、平均利用者数はほぼ横ばいとなった。

(2) 決算状況

希望の郷拠点では、事業活動による収入が前年比 105.7%となっている。希望の郷では、介護給付費収入が前年比 107.4%と増加しており、障害支援区分の重度化によるものの他、各サービス区分では、生活介護事業の人員配置体制加算の変更、施設入所支援事業の重度者支援加算の新規取得、短期入所事業は年度当初の長期利用が要因としてあげられる。就労継続支援B型事業については、利用者の増により訓練等給付費収入が前年度対比 102.6%となっている。

支出については、人件費は職員配置の適正化を実施する。事業費については、主に感染症対策と水道光熱費の使用量の増加及び単価の値上がりによる支出増（前年比 106.2%）、事務費については、人材育成強化のための研修研究費の増、新システム導入のための機器の購入などによる支出増があったが、修繕費が抑えられたことにより、全体の支出は抑えられ、前年度並みとなった。

(3) 重点取組事項

- ① 利用者の高齢化・重度化への対応として築10年の改修工事と活動グループ再編成と日課の見直し、マルナカ直産市への出店など販路拡大による工賃向上など利用者本位のサービス向上に取り組んだ。
- ② 将来構想検討会等での知的障がいに係る事業体制の検討、補正予算説明会によるコスト意識の醸成、次年度当初予算は報酬単価見直しを踏まえての編成など施設基盤強化に取り組んだ。
- ③ 四国大学就職ガイダンスや福祉フェアへの参加や派遣研修、職場内研修サポート事業を活用したOJT研修、福祉・介護職場への女性等参入促進事業を活用した女性の目線での働きやすい職場づくりなど人材確保・育成強化に取り組んだ。
- ④ 虐待防止や成年後見についての職場内研修、徳島県看護協会と連携した感染症Z E R O達成プロジェクトによる感染症予防、また、施設PRツールとして穴吹カレッジとの産業連携プロジェクトによる施設ホームページのリニューアルなど運営体制強化に取り組んだ。
- ⑤ 希望の郷祭り、音楽療法・茶道クラブ・理容等のボランティア受け入れ、団体等の施設見学の受け入れ、就労継続B型による近隣高齢者施設の園芸クラブのサポートや喫茶アクセント開店など地域との連携強化に取り組んだ。



希望の郷祭り



日帰り旅行



HPリニューアル



マルナカ直産市



就職ガイダンス



OJT研修

希望ホーム

地域において共同生活を営みながら、自立した社会生活及びいきいきとした日常生活を営むことができるよう、利用者の意思及び人格を尊重しつつ、個別の相談、食事の支援、その他の適切な援助を行った。

平成 29 年 11 月 1 日サテライト型住居 1 室を新設し、1 人暮らしへ向けての支援を開始した。

1 事業の進捗状況について

(1) 入退所の状況 (単位：名)

平成 29 年 4 月 1 日現在 前年度継続利用者数	入所者数	退所者数	平成 30 年 3 月 31 日現在 利用者数
12	2	1	13

(2) 利用状況 (単位：名)

定員	現員	平成 29 年度 平均利用者数	前年度 平均利用者数
13	13	11.4	11.5

(3) 入居者の状況 (平成 30 年 3 月 31 日現在)

入居者	性別	障害の程度	就労等活動の場	入居年月日	入居期間
A	男	療育手帳 B2	北島町内仏壇製造会社	平成 2 年 4 月 1 日	28 年
B	男	療育手帳 B1	市内木工会社	平成 3 年 4 月 1 日	27 年
C	女	療育手帳 B1	希望の郷洗濯用務	平成 4 年 4 月 1 日	26 年
D	女	療育手帳 B1	希望の郷 (就労継続利用)	平成 4 年 4 月 1 日	26 年
E	男	療育手帳 A2	市内木工会社	平成 5 年 6 月 1 日	24 年 1
F	男	療育手帳 B1	市内木工会社	平成 5 年 10 月 1 日	24 年 6
G	男	療育手帳 B1	市内木工会社	平成 6 年 7 月 1 日	23 年 9
H	女	療育手帳 B1	希望の郷 (就労継続利用)	平成 12 年 7 月 1 日	17 年 9
I	女	療育手帳 B1	市内老人保健施設清掃	平成 25 年 4 月 1 日	5 年
J	男	療育手帳 B2	市内運送会社	平成 26 年 4 月 1 日	4 年
K	男	療育手帳 B1	市内私立大学清掃	平成 27 年 4 月 1 日	3 年
L	女	療育手帳 B2	市内ランドリー会社	平成 30 年 1 月 1 日	3 ヶ月
M	女	療育手帳 B1	市内量販会社	平成 30 年 3 月 31 日	

2 決算状況 (平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日)

希望の郷拠点区分に含む。

3 事業活動の概況

(1) 進捗状況

入居者は平成30年3月31日現在で定員13名満室となったが、年度内において長期帰宅者及び退去者があり、平均利用者数は昨年比0.1人減となっている。

(2) 決算状況

収入では、サテライト住居開設により定員増となったが、長期帰宅者等で延人数での減少があったために対前年比で98.5%となっている。

支出においては、人件費で利用者の区分に応じて職員配置の適正化をしているが前年度とほぼ同水準、事業費はサテライトの開設があり微増し、事務費はホームの移転があった昨年度より支出減となっている。

(3) 重点取組事項

- ① サテライト住居の新設により定員が1名増加した。利用者の状況に応じて適切な援助を行った。
- ② 就労先との結びつきを重視し、障がいへの理解を深め雇用継続につながるよう職場訪問をしたり、障がい者職業センターとの連携に努めた。
- ③ 地域理解を深めるため、水消火器を利用した消火訓練を同マンションの一般住民にも参加の案内をして実施した。また、近隣の大規模商業施設の取組みにも積極的な参加をした。
- ④ 豊かな地域生活を年頭に、入居者の希望や意見を取り入れた余暇支援を実施した。
- ⑤ 虐待予防研修等各種研修への参加、他法人のグループホーム見学、職員連絡会議等により職員の資質向上に努めた。



避難訓練及び消火訓練



ホテルでの忘年会



全体連絡会議

相談支援事業所きぼう

平成29年7月に、事業所を徳島県立総合福祉センター内に移転し、障がい児及び障がい者の自立した生活を支え、抱える課題の解決や適切な福祉サービス等利用に向けて、連絡調整、計画作成、見直し等きめの細かい支援を行うとともに、相談のワンストップサービスの拠点として、「困りごと相談窓口」（地域福祉相談窓口）を開設し、障がいのある方の生活の困りごと、福祉サービスの利用などの相談に応じ、より幅広い相談支援業務を行った。

また、徳島市における障がい児者やその家族からの福祉に関する様々な相談等、地域生活支援事業に係る相談支援事業として、平成30年1月より「徳島市障害者相談支援事業」を行い、相談支援事業の充実を図った。

1 事業の進捗状況について

(1) 計画相談等の状況

(単位:人)

支援事業の種類	項目	本年度実績	前年度実績
特定相談支援事業	サービス利用支援	315	321
	継続サービス利用支援	284	246
計		599	567
障害児相談支援事業	障害児支援利用援助	105	60
	継続障害児支援利用援助	78	49
計		183	109

(2) 徳島市障害者相談支援事業の状況

(平成30年1月1日～3月31日)

①対象者実人数

(単位:人)

	身体	重症心身	知的	精神	発達障がい	高次能	その他	計
障がい児	6	2	21	5	37	0	7	78
障がい者	76	2	115	90	8	0	3	294
計	82	4	136	95	45	0	10	372

*障害者手帳のない人は、事業所聞き取りによる

②対象者延人数

(単位:人)

	身体	重症心身	知的	精神	発達障がい	高次能	その他	計
障がい児	12	3	52	13	83	0	17	180
障がい者	227	5	439	258	20	0	10	959
計	239	8	491	271	103	0	27	1,139

③相談方法

(単位:人)

	身体	重症心身	知的	精神	発達障がい	高次能	その他	計
訪問	87	4	167	92	41	0	4	395

来所相談	5	2	20	9	3	0	0	39
同行	6	0	16	4	3	0	1	30
電話相談	139	2	275	159	51	0	22	648
電子メール	1	0	7	4	0	0	0	12
その他	1	0	6	3	5	0	0	15
計	239	8	491	271	103	0	27	1,139

④支援内容

(単位：人)

	身体	重症心身	知的	精神	発達障がい	高次能	その他	計
福祉サービスの利用等	216	7	286	165	86	0	22	782
障害者病状の理解に関する支援	0	0	9	10	1	0	0	20
健康・医療に関する支援	5	1	94	25	1	0	2	128
不安の解消・情緒の安定に関する支援	3	0	29	20	4	0	0	56
保育。教育に関する支援	0	0	0	0	6	0	0	6
家族関係・人間関係に関する支援	0	0	8	1	1	0	0	10
家計・経済に関する支援	3	0	8	15	0	0	0	26
生活技術に関する支援	2	0	18	14	1	0	0	35
就労に関する支援	2	0	11	15	2	0	1	31
社会参加。余暇活動に関する支援	0	0	2	2	1	0	0	5
権利擁護に関する支援	0	0	4	0	0	0	0	4
その他 住宅入居等支援	8	0	22	4	0	0	2	36
	239	8	491	271	103	0	27	1,139

2 決算状況（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

希望の郷拠点区分を含む。

3 事業活動の概況

(1) 進捗状況

①相談支援事業

徳島市を中心とした障がい児及び障がい者の相談窓口として、福祉サービスの調整などを実施している。

計画相談支援においては、障がい者の計画相談は599件、前年度567人に対し、

105.6%、障がい児の計画相談は183人、前年度109人に対し167.9%と急激な増となっており、これは、相談窓口が整備されてきたことが要因のひとつであると思われる。

また、「困りごと相談窓口」（地域福祉相談窓口）の設置、平成30年1月から「徳島市障害者相談支援事業」を受託し、相談支援員を増員するとともに、福祉サービスの利用、健康・医療に関する支援、不安の解消・情緒の安定に関する支援等に取り組んだところである。

(2) 決算状況

収入については、12,772千円となり、前年度10,134千円に対して、2,638千円の増であった。福祉サービス事業収入による増額、徳島市障害者相談支援事業の受託による増額が要因である。

支出については、人件費・事業費・事務費を適正に執行し、当期末支払資金残高は、8,491千円である。

未 来

児童の成長過程に沿ったサービスの提供を念頭に、心豊かで健やかに成長できるよう、健康面、食事面、年間行事等に配慮した支援を行った。

年度末の入所利用者数は、51名（対前年度比6.2%増）、障害児短期入所事業は、637日（同4.4%減）、放課後等デイサービス事業所未来は、2,237名（同103.9%増）の年間利用実績となっている。

1 事業の実施状況

(1) 障害児入所施設（入所定員：60名）

① 入退所児（者）の状況

性別 \ 区分	平成29年3月31日 現在入所者数	入所者数	退所者数	平成30年3月31日 現在入所者数
男	29	7	6	30
女	19	4	2	21
合計	48	11	8	51

利用者内訳：措置利用者31名、契約利用者20名

② 障害程度別状況

区分 \ 項目	未就学	小学部	中学部	高等部	加齢児	合計
最重度	0	0	1	4	0	5
重度	1	5	4	2	3	15
中軽度	0	7	9	15	0	31
合計	1	12	14	21	3	51

(2) 障害児短期入所事業（利用定員：4名/日）

項目 \ 契約区分	継続契約	新規契約	契約終了	合計
(1) 契約状況	51	16	0	67
(2) 年間利用実績	637日（対前年度667日）			

(3) 放課後等デイサービス事業所未来（利用定員：10名/日）

項目 \ 契約区分	継続契約	新規契約	契約終了	合計
(1) 契約状況	24	5	2	27
(2) 年間利用実績	2,237名（対前年度1,097名）			



▲ 虐待防止研修会



▲ 親子日帰り旅行



▲ 保護者会による清掃活動

2 決算状況（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

（拠点合計、単位：円）

区 分	決 算 額	前年度決算額	増 減
事業活動による収入	199,463,662	181,971,697	17,491,965
施設整備等による収入	2,268,000	376,000	1,892,000
その他の活動による収入	2,029,293	7,999,077	△5,969,784
収入合計	203,760,955	190,346,774	13,414,181
事業活動による支出	174,002,642	163,743,164	10,259,478
施設整備等による支出	2,700,864	808,864	1,892,000
その他の活動による支出	1,247,488	1,073,599	173,889
支出合計	177,950,994	165,625,627	12,325,367
当期資金収支差額	25,809,961	24,721,147	1,088,814
前期末支払資金残高	41,587,987	16,866,840	24,721,147
当期末支払資金残高	67,397,948	41,587,987	25,809,961

3 事業活動の概況

（1）進捗状況

① 障害児入所施設・短期入所事業

ア 保護者会との連携事業

保護者会の開催時に苦情解決制度や福祉制度の周知を図るとともに、個別懇談会の開催、清掃活動の実施、親子日帰り旅行等、施設と保護者会が一体となった取り組みを行った。

【苦情等の受付状況】

区分	項目	苦 情	意見・要望	合 計	備 考
保 護 者		6	3	9	利用者の意見・要望欄は、自治会の開催回数としたこと。
利 用 者		0	12	12	
地 域 ・ そ の 他		3	0	3	
合 計		9	15	24	



▲ クリスマス会（地元企業共催） ▲ もちつき大会（気延クラブ） ▲ 清掃ボランティア

イ 地元企業等との協賛事業

地元企業との共催によるレクリエーション行事を開催するとともに、地域の方々との協賛事業を開催した。また、徳島県、徳島県教育委員会及び徳島ビルメンテナンス協会との連携による支援学校生の就労訓練を兼ねた清掃ボランティア奉仕活動を実施した。

ウ 職員の人材育成

職場内研修モデル事業（徳島県社会福祉協議会社会福祉研修事業）を活用して計画的な研修事業を実施した。（実施研修 68：OJT 研修 7、OFF-JT 研修 31、SDS 研修 30）

② 将来構想関係

ア 事業構想検討会の設置

旧あさひ学園の土地及び建物を含めた跡地の活用策について、希望の郷及び未来の職員で構成する「事業構想検討会」を設置し、将来構想案の検討を開始した。

イ 県内先駆的事業所の視察

地域共生型事業の実現に向けて、県内先駆的事業所の視察を行い、今後の事業骨子の参考とした。

③ 放課後等デイサービス事業所未来

ア 療育に特化した月次特別メニューの実施

事業所間の差別化を図るため、療育に特化した月次特別メニュー（音楽療法、空手、言語療法等）を実施し、さらなる療育事業の充実を図った。



▲ 外部講師による療育プログラム（音楽療法・小児はり・ダンス教室）

(2) 決算状況

通期における経営状況（拠点合計）は、障害児入所施設・放課後等デイサービス事業の利用者増等により、収入合計は、203,761千円となり、前年度190,347千円に対して、13,414千円の増であった。

支出合計は、177,951千円となり、前年度165,626千円に対し12,325千円の増となり、当期資金収支差額は、25,810千円（対前年度比1,088千円増）、当期末支払資金残高は、67,398千円となった。

徳島県立総合福祉センター

福祉活動の拠点施設として、社会福祉に携わる方に、ホール、会議室、ボランティア連絡室等の活動の場を提供し、併せて、社会福祉に関する情報の提供、施設機能を有効に活用するための企画展をはじめ、地域連携による防災講習会を開催し、地域連携による運営を行った。また、津波などが予想される災害に備え徳島市より津波避難ビルの指定も受け「防災ボックス」の設置などを行った。

なお、管理運営にあたっては、幅広い利用者層（障がい者、高齢者、子ども）に対する安全管理を徹底するとともに、利用者ニーズに沿った運営を行うため夜間会議室利用料金の引き下げを継続的に行い稼働率の増加、利便性の向上を図った。

1 事業の進捗状況について

(1) 来館者数 (単位：人)

本年度実績	前年度末実績	備 考
108,183	119,314	

(2) 会議室等利用実績

項 目	本年度実績	前年度実績	備 考
有料会議室(設備含む) 件数(件)	4,575	4,339	
人数(人)	104,939	117,185	
ボランティア室(無料) 件数(件)	422	257	
人数(人)	3,244	2,129	
合 計 利用件数(件)	4,997	4,596	
利用人員(人)	108,183	119,314	

(注) 利用実日数は、332日/年間である。

(3) 利用収入実績

(単位：円)

本年度実績額	前年度実績額	備 考
13,360,640	13,118,445	

(4) 実施事業の内容

事業内容	本年度実績
福祉講座の開催	1 実施回数 : 10回 2 延べ参加者 : 84名 3 講座の内容 : 8講座
ワンコイン講座の開催	1 実施回数 : 3回 2 参加人員 : 34名 3 講座の内容 : 3講座
無料体験コーナー	1 参加人員 : 20名 2 事業内容 : 無料体験コーナー (和の遊び)
地域防災講習会の開催	1 実施回数 : 2回 2 参加人員 : 90名 3 事業内容 : 講演「災害時の食事対策」炊き出し訓練 他
企画展の開催	1 実施回数 : 5回 2 事業内容 : 写真展、パネル展他
館内連絡調整会議の開催	1 実施回数 : 2回 2 出席者 : 20名 3 会議の内容 : 運営に関する連絡協議等
障がい者の自立支援の推進	1 就労場所 : 総合福祉センター 2 就労者数 : 3名 3 事業内容 : 館内清掃業務等

2 決算状況 (平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(単位 : 円)

区 分	決 算 額	前年度決算額	増 減
事業活動による収入	44,770,950	44,593,145	177,805
施設整備等による収入	0	0	0
その他の活動による収入	0	0	0
収入合計	44,770,950	44,593,145	177,805
事業活動による支出	40,438,518	40,868,182	△429,664
施設整備等による支出	0	0	0
その他の活動による支出	161,316	398,808	△237,492
支出合計	40,599,834	41,266,990	△667,156
当期資金収支差額	4,171,116	3,326,155	844,961
前期末支払資金残高	8,626,424	5,300,269	3,326,155
当期末支払資金残高	12,797,540	8,626,424	4,171,116

3 事業活動の概況

(1) 進捗状況

4月に徳島市の「津波時における一時避難施設」として指定され、「防災ボックス」を設置し、災害時における避難施設としての機能が強化された。

各種福祉講座、地域防災講座、企画展を実施し、施設の周知を図るとともに、地域の福祉拠点としての役割を果たしたところである。

また、ホール、会議室、ボランティア連絡室の利用については、利用者の声やニーズを踏まえ、利用の促進を行うとともに、施設の老朽化にともなう施設の環境整備に努めたところである。

(2) 決算状況

収入については、44,771千円となり、前年度44,594千円に対して、100.4%であった。

支出については、40,439千円となり、前年度40,869千円に対して98.9%と、経常経費の削減に努めた。しかし、施設の老朽化に伴い、修繕費の増加は87.9千円となり、今後も計画的に修繕を実施していく必要がある。

トピック



企画展



炊き出し訓練



地域防災講座

徳島県立障がい者交流プラザ（障がい者交流センター）

障がい者交流プラザは、障がい者の自立と社会参加の促進に向けた活動と交流の拠点施設として、平成18年に開館し、交流の場の提供、視聴覚障がい者に対する支援、障がい者の文化芸術の振興、スポーツの振興・普及等、施設機能を最大限に活用して障がい者の自立と社会参加を促進を図ったところである。平成30年1月には利用者150万人を達成した。

1 事業の進捗状況について

(1) 来館者数 (単位：人)

本年度実績	前年度実績	備 考
97,663	93,978	

(2) 会議室等利用実績

項 目	本年度実績	前年度実績	備 考
有料施設 件数 (件)	2,681	2,702	
人数 (人)	40,790	40,208	
ボランティア室 (無料) 件数 (件)	212	261	
人数 (人)	2,461	2,980	
団体会議室 (無料) 件数 (件)	199	221	
人数 (人)	2,289	2,494	
合 計 利用件数 (件)	3,092	3,184	
利用人員 (人)	45,540	45,682	

(注) 利用実日数は、359日/年間である。

(3) 利用収入実績

(単位：円)

本年度実績額	前年度実績額	備 考
2,186,350	2,358,810	

(4) 実施事業の内容

事業内容	実施内容等
プラザ見学会等の受入	1 来館者数：9万7,663名 2 施設見学会：3件（延べ252名） 3 参加者：障がい団体等

事業内容	実施内容等
プラザ講座の開催	1 実施回数：96回 2 参加人員：1,396名 3 講座内容：陶芸 他17講座 4 ボランティア：148名
交流プラザフェスタの開催	1 日時：平成29年8月6日 2 参加人員：4,865名 3 事業内容：「第12回交流プラザフェスタ」スポーツ&アート 4 ボランティア：83名
通報・消火・避難誘導訓練	1 実施回数：2回 2 参加人員：56名（職員及び利用者） 3 訓練内容：通報、消火、避難誘導訓練、講話等
避難所開設・運営訓練	1 実施回数：3回 2 参加人員：138名（地域、利用者、館内職員） 3 内容：開設訓練
障がい者の自立支援の推進	1 就労場所：障がい者交流プラザ全館 2 就労者数：5名 3 事業内容：館内清掃業務等を通じて障がい者の自立を推進
ボランティアの推進	1 実施回数：7回 2 参加人員：137名 3 事業内容：屋上リハビリ公園における園芸ボランティア
企画展の開催	1 実施回数：8回 2 事業内容：絵画展、コンサート、お茶会等
館内連絡調整会議の開催	1 実施回数：2回 2 出席者数：45名 3 会議の内容：プラザの運営に関する連絡協議等
不審者対応訓練の開催	1 実施回数：1回 2 参加人員：29名 3 事業内容：不審者への対処方法 実技訓練：徳島西警察署、田宮交番

2 決算状況（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

（単位：円）

区 分	決 算 額	前年度決算額	増 減
事業活動による収入	87,856,889	87,355,360	501,529
施設整備等による収入	0	0	0
その他の活動による収入	0	0	0
収入合計	87,856,889	87,355,360	501,529
事業活動による支出	80,106,828	85,962,649	△5,855,821
施設整備等による支出	0	0	0
その他の活動による支出	6,529,701	492,264	6,037,437
支出合計	86,636,529	86,454,913	181,616

当期資金収支差額	1, 220, 360	900, 447	319, 913
前期末支払資金残高	4, 914, 361	4, 013, 914	900, 447
当期末支払資金残高	6, 134, 721	4, 914, 361	1, 220, 360

3 事業活動の概況

(1) 進捗状況

次期指定管理者として決定し、交流プラザの「新しい10年に向けて」、「スポーツ」・「アート」・「交流」・「子育て支援」・「防災」をキーワードに具体的な事業の展開について、企画等を検討したところである。

また、施設の適切な維持管理を行っていくとともに、建物・設備における経年劣化による設備等の修繕を適宜行ったところである。

また、障がい者交流プラザは、災害時における「避難所」と「津波避難ビル」の指定がされており、本年度新たに、地域の方々が参加した避難所開設・運営訓練を3回実施し、災害時における要配慮者に対する対応、障がい者交流プラザの災害対応力を高めることができた。

(2) 決算状況

事業活動収入は87,857千円となり、前年度87,356千円に対して、100.6%の増収となった。

事業活動支出は80,107千円となり、前年度85,963千円に対して、93.2%となっているが、設備・建物の小修繕を計画的に行い、建物の維持管理につとめた。

結果、当期末支払資金残高は、6,135千円となっている。

トピック



プラザフェスタ



園芸ボランティア



避難所開設訓練



アートフェスティバル



150万人達成



クリスマス

徳島県立障がい者交流プラザ（視聴覚障がい者支援センター）

視覚や聴覚に障がいのある個人が、尊厳を持って日常生活又は社会生活を送ることを目的とし、視覚障害者情報総合ネットワーク「サピエ」（全国視覚障害者情報提供施設協会運営によるインターネット図書館）等ICTの活用による情報提供事業、歩行訓練や情報機器訓練等による社会的リハビリテーション事業の実施、さらには、点訳・音訳ボランティアや同行援護従業者の養成、手話通訳等意思疎通支援者の養成及び派遣事業等を実施することにより、視聴覚障がい者の自立と社会参加を支援した。

1 事業の進捗状況について

(1) 点字図書館事業

(単位：タイトル数)

項目		本年度実績	前年度実績	備考
種別	区分			
点字図書	受入	106	115	
	利用	1,612	1,898	
音声図書	受入	126	142	
	利用	24,987	17,423	
テキストデージー他	受入	19	27	
	利用	682	414	

(2) 生活訓練事業

(単位：延べ人数)

種別	本年度実績	前年度実績	備考
相談	221	171	
個別型・講座型プログラム	446	445	
地域・全体プログラム	195	226	

(3) 聴覚障がい者情報・コミュニケーション支援事業

(単位：本数、件数)

種別	本年度実績	前年度実績	備考
字幕入りビデオ等の貸出	62	64	
手話通訳者派遣	1,200	1,243	
要約筆記者派遣	28	30	

2 決算状況（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(単位：円)

区分	決算額	前年度決算額	増減
事業活動による収入	76,283,536	76,866,631	△583,095
施設整備等による収入	0	0	0
その他の活動による収入	0	2,592,420	△2,592,420
収入合計	76,283,536	79,459,051	△3,175,515
事業活動による支出	72,362,625	78,528,037	△6,165,412
施設整備等による支出	0	777,600	△777,600
その他の活動による支出	695,948	865,416	△169,468
支出合計	73,058,573	80,171,053	△7,112,480

当期資金収支差額	3,224,963	△712,002	3,936,965
前期末支払資金残高	5,248,637	5,960,639	△712,002
当期末支払資金残高	8,473,600	5,248,637	3,224,963

3 事業活動の概況

(1) 進捗状況

県内4か所においてすだちくんメール及び届くん情メール登録会を実施した結果、平成29年度末現在、登録者は127名に達した。各種お知らせ等情報発信ツールとして有効に活用している。

手話通訳者の派遣事業に関しては、平成28年度に比べると、行政関係者や民間事業者からの依頼が増加しており、実際に派遣した手話通訳者は100余名増えている。また、個人派遣は、通院などの医療関係が67%を占めており、聴覚障がい者が安心して日常生活を送るため、より専門的な情報保障が求められている。

平成30年度から5年間の指定管理の事業計画として掲げた、「寄り添い型支援」(視覚リハビリテーション:訪問型支援、アウトリーチ型支援等)、「連携・協働型支援」(多種多様な企業・団体等と共に企画し、共に実施するWith事業)等により視覚・聴覚障害者の地域生活を包括的に支援するため、広報用のチラシやポスターを作成し、市町村22か所・保健所6か所へ直接出向き事業の周知や協力依頼を行った。

(2) 決算状況

事業活動収入については、ほぼ前年どおり76,284千円となっている。事業活動支出では、1名育児休業取得者がいたことなどにより、6,166千円の減額となっている。これにより当期資金収支差額が、3,225千円余りとなり、前期末支払資金残高を合わせ、8,474千円を次年度に繰り越した。



UDC a s t 体験会
視聴覚障がい者支援センターフェスタ



伴走者とウォーキング&ジョギング体験

徳島県地域生活定着支援センター

罪を犯した高齢者・障害者で福祉的支援を必要とする者について、特別・一般調整業務（コーディネート・フォローアップ）・相談支援業務を行った。29年度は、前年度からの支援を継続したほか、新規受け入れ対象者にあつては、殺人・傷害致死罪等と難しい事案に複数件取組んだ。また、スキルアップを目指した各種研修会への参加、協力機関や受け入れ先確保を目的としたネットワーク協議会の開催や、他機関が主催する研修会への講師派遣等、定着事業の普及・啓発の推進、強化を図った。

1 事業の進捗状況について

（平成29年4月1日から平成30年3月31日まで）

事業内容	実施内容等
<p>特別調整等</p> <p>特別調整対象者 高齢者又は障がい者 住居がない 福祉サービスが必要 調整対象が相当 調整対象を希望 個人情報提供を同意 </p>	<p>1 対象者：23名（うち10名は、前年度から継続）</p> <div style="margin-left: 20px;"> { 障がい者 7名（うち3名 高齢者） 高齢者 16名 </div> <p>2 支援の状況：定着 4件 コーディネート中 7件 フォローアップ中 7件 特別調整終了 5件（県外帰住2、再犯2、終了1）</p> <p>3 支援の内容：住まいの確保（民間住宅、公営住宅） 福祉サービス（生活保護受給、住所設定・住民異動届、療育手帳取得手続き、障害者年金支給手続き、施設の選定、預金通帳作成等） 医療サービス（入院、通院）</p>
<p>相談支援</p>	<p>1 件数：44件</p> <p>2 相談内容：住まいの確保、所得保障、福祉・医療サービス等</p>

2 決算状況（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

（単位：円）

区 分	決 算 額	前年度決算額	増 減
事業活動による収入	23,000,000	25,000,000	△2,000,000
施設整備等による収入	0	0	0
その他の活動による収入	0	331,000	△331,000
収入合計	23,000,000	25,331,000	△2,331,000
事業活動による支出	22,860,584	25,153,092	△2,292,508
設整備等による支出	0	0	0
その他の活動による支出	139,416	77,908	△61,508
支出合計	23,000,000	25,231,000	△2,231,000
当期資金収支差額	0	100,000	△100,000
前期末支払資金残高	100,000	0	100,000
期末支払資金残高	100,000	100,000	0

3 事業活動の概況

(1) 進捗状況

特別調整を希望する対象者が増加している傾向にあり、加えて犯罪度数、罪名の重さから、支援業務の複雑化が見られ、一層の支援スキルの獲得に向け、各種研修会への参加、事業所内でのケースカンファレンス等を適宜行った。また、関係協力機関、受け入れ先等の確保を目的に、ネットワーク協議会の開催、他機関が主催する研修会等にも積極的に参加をすることで、定着事業の普及・啓発推進に努めた。

一方で、真に福祉的支援が必要な特別調整候補者を対象に、矯正施設において、施設内教育プログラムの一環として定着職員が授業に出向き、本事業について分かりやすく、丁寧に説明を行うことで、支援の申し出る者が増え、地域への定着と再犯防止に繋がるよう配慮した。

(2) 決算状況

収入については、徳島県からの委託金であり、前年度より2,000千円の傾斜配分による減額ではあったが、安定した財源の確保が図られている。支出については人件費のほか、需用費・役務費・消耗品等、適正な執行が図られたところである。

(参考)

徳島県地域生活定着支援センターでは

高齢又は障がいにより福祉的支援を必要とする矯正施設退所者等について、矯正施設、保護観察所等と連携・協働して、社会復帰・地域生活への定着を支援します。

特別調整業務

コーディネート業務

- ・対象者のニーズの把握
- ・入居(所)受入り施設のあっせん
- ・福祉サービス利用申請
- ・医療サービス利用申込み
- ・年金・生活保護受給 等

フォローアップ業務

コーディネート業務により、矯正施設から退所後、福祉施設等を利用している者に関し、施設訪問による生活状況確認、受入れ施設等に対する必要な助言等を行います。

相談支援業務

矯正施設退所者等の福祉サービス等の利用に関し、本人・関係者からの相談に応じ、助言その他必要な支援を行います。

ノーマライゼーション促進センター

2020東京オリパラに向けて、障がい者の芸術・文化の振興、障がいに対する理解、障がい者の自立と社会参加に向けた取り組みを行った。

心の輪を広げる体験作文や障害者週間のポスターの募集、障がい者の集い県民大会での体験作文の朗読・ポスターの展示などを通しての啓発広報事業、地域で暮らすサポート事業として、ボッチャ大会等、また、福祉バスの運行等により社会見学やスポーツ大会への参加など日常生活の支援を行い福祉の向上に努めたところである。

1 事業の進捗状況について

事業内容	実施内容等
障がい者の集い県民大会	<ol style="list-style-type: none"> 開催日：平成29年12月10日(日) 開催場所：徳島県障がい者交流プラザ 参加人数：370名 事業内容：障がい者福祉功労者の表彰、「心の輪を広げる体験作文」の朗読、障害者週間ポスター等の展示、講演会
心の輪を広げる体験作文及び障害者週間のポスターの募集	<ol style="list-style-type: none"> 募集期間：平成29年7月3日(木)～9月5日(火) 応募作品：作文33篇 ポスター19点 審査会：平成29年9月25日(月) 審査方法：部門毎に最優秀、優秀賞、佳作を選考
地域で暮らすサポート事業	<ol style="list-style-type: none"> 応募期間：平成29年7月19日(水)～8月8日(火) 応募内容：社会参加や社会啓発への事業提案の募集 募集数：3件 応募内容：ボッチャ体験会、料理教室等
徳島県障がい者福祉バスの運行	<ol style="list-style-type: none"> 運行件数：県内14件、県外29件 計43件 利用団体：徳島市肢体障害者会、徳島県手をつなぐ育成会他 利用者数：1,007名

2 決算状況（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

（単位：円）

区 分	決 算 額	前年度決算額	増 減
事業活動による収入	12,724,958	17,058,833	△4,333,875
施設整備等による収入	0	0	0
その他の活動による収入	0	50,096,000	△50,096,000
収入合計	12,724,958	67,154,833	△54,429,875
事業活動による支出	13,023,926	17,029,607	△4,005,681
施設整備等による支出	0	0	0
その他の活動による支出	133,604	50,768,280	△50,634,676
支出合計	13,157,530	67,797,887	△54,640,357
当期資金収支差額	△432,572	△643,054	210,482
前期末支払資金残高	13,229,671	13,872,725	△643,054
当期末支払資金残高	12,797,099	13,229,671	△432,572

3 事業活動の概況

(1) 進捗状況

作文・ポスター・写真等の募集については、前年度の1.3倍の応募、また、戸山サンライズ主催のコンテストについては、応募作品の内、金1、銀1、銅4と入賞者数が前年度を上回り、障がい者の文化・芸術の推進が図られたところである。

福祉バス（リフト付きバス）の利用状況については、43回、前年度比113%の利用状況であった。

また、障がい者のつどい県民大会については、370名の参加があり、障がい者福祉功労者等の表彰をはじめ、全国障がい者スポーツ大会のスライドショー・写真展示、講演会を行った。

障がい者の文化・芸術の啓発・推進、障がい者の社会参加に向けての事業を実施し、障がい者の社会参加の促進を図ったところである。

(2) 決算状況

事業活動収入は12,725千円となり、前年度17,058千円に対して、4,333千円の減額となった。これは、事業委託費が、ノーマライゼーション促進センターから徳島県障がい者スポーツ協会へ事業移管したことによるものである。

事業活動支出においても、事業移管により、対前年度より4,006千円の減額となった。

結果、当期末支払資金残高は、12,798千円となった。

徳島県障がい者スポーツ協会

2020東京オリパラの開催を契機に障がい者スポーツの競技力の向上、普及に取り組むとともに、平成30年1月に、スポーツ協会1周年記念イベントとして障がい者スポーツ理解促進フェスティバルを開催し、障がい者スポーツの推進に取り組んだところである。

さらには、障がい者スポーツが生涯を通して親しむことができるよう、年齢、障がいの有無、障がい種別等に関係なく参加でき、今年度より新たにボッチャ大会等を実施し、障がい者スポーツの積極的な展開を図った。

1 事業の進捗状況について

事業内容	実施内容等
ノーマピック・スポーツ大会	1 開催日：平成29年5月13日（土）、14日（日）、20日（土）、28日（日）（4日間） 2 開催場所：鳴門・大塚スポーツパーク他 3 参加人数：選手401名、役員等306名、計707名 4 種 目：陸上競技、水泳、卓球他
ノーマピック・カローリング大会	1 開催日：平成29年10月12日（木） 2 開催場所：鳴門・大塚スポーツパーク（アミノバリュー） 3 参加人数：選手56名（18チーム）
ノーマピック・フライングディスク大会	1 開催日：平成30年1月13日（土） 2 開催場所：鳴門・大塚スポーツパーク（アミノバリュー） 3 参加人数：選手123名（25チーム）
全国障害者スポーツ大会	1 大会派遣：平成29年10月28日（土）～30日（月） 2 派遣場所：愛媛県 3 派遣人数：役員、選手60名 4 成 績：金5個、銀3個、銅11個 合計19個 5 選考委員会：平成29年6月8日（月） 6 記録交付式：平成30年3月18日（日）
出張スポーツ教室	1 開催回数：85回（4月～3月） 2 開催場所：淡島学園、野菊の里、吉野川育成園他 3 実施内容：ボッチャ、グランドゴルフ他
スポーツ指導員の派遣	1 派遣回数：18件 2 派遣場所：池田総合体育館、みなと高等学園他 3 実施内容：ボッチャ、フライングディスク他

初級障がい者スポーツ指導員養成講習会	1 開催日：平成30年2月3日～11日（日）の間、4日間 2 開催場所：徳島県障がい者交流プラザ 3 講習内容：障がい者スポーツの意義と理念等 4 受講申込者数：54名（初級資格取得者50名）
地域における障がい者スポーツ普及促進事業	○レクリエーション・ボッチャ大会 1 開催日：平成29年11月25日（土） 2 開催場所：鳴門・大塚スポーツパーク 3 参加チーム数：34チーム ○出張スポーツ教室の開催 1 開催日：8月～1月 合計9回実施 2 開催場所：県央、県西、県南の3ブロック 3 参加人数：211名 ○特別支援学校での選手育成 1 開催日：8月～2月 合計18回実施 2 開催場所：国府支援学校、鳴門教育大学附属特別支援学校 3 事業内容：選手育成のためのトレーナー派遣 16回 スポーツ総合体力診断 2回 鳴門渦潮高校バスケットボール部と交流試合の実施
団体競技サポート支援事業	1 開催日：4月～3月 2 開始場所：聴覚支援学校体育館、春叢園グラウンド他 3 実施回数：48回
ジュニアスポーツ体感事業	1 派遣回数：18回 2 開催場所：高志小学校、山口小学校、南部中学校他 3 参加者数：308名

2 決算状況（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

（単位：円）

区 分	決 算 額	前年度決算額	増 減
事業活動による収入	24,406,325	20,153,870	4,252,455
施設整備等による収入	0	0	0
その他の活動による収入	189,000	116,000	73,000
収入合計	24,595,325	20,269,870	4,325,455
事業活動による支出	23,997,978	19,742,526	4,255,452
施設整備等による支出	0	0	0
その他の活動による支出	168,132	36,344	131,788
支出合計	24,166,110	19,778,870	4,387,240

当期資金収支差額	429,215	491,000	△61,785
前期末支払資金残高	491,000	0	491,000
当期末支払資金残高	920,215	491,000	429,215

3 事業活動の概況

(1) 進捗状況

障がい者スポーツの振興や普及促進を図るため、障がい者スポーツ大会の開催、全国障害者スポーツ大会への選手団の派遣等を行った。また、各種大会、講習会、出張スポーツ教室への指導者の派遣、初級障がい者スポーツ指導員養成講習会を開催した。

また、今年度より新たに開催したボッチャ大会をはじめ、団体競技の競技力向上のためのサポートの強化、特別支援学級の児童や生徒等を対象に県下各地でジュニアスポーツの環境づくりにも取り組み、協会事業の積極的な展開を図った。

(2) 決算状況

事業活動収入は24,407千円となり、前年度20,154千円に対して、4,253千円の増額となった。これは、事業委託費が、ノーマライゼーション促進センターから徳島県障がい者スポーツ協会へ事業移管したことによるものである。

事業活動支出においても、事業移管により、対前年度より4,253千円の増額となった。

結果、当期末支払資金残高は、921千円となった。

トピック



ボッチャ大会



第17回全国障がい者スポーツ大会



ジュニアスポーツ体感事業